



補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10歳以下）の子供たちに「年間を通して定期的に試合ができる環境」を提供するため、2004年にスタートした岩手県独自の取り組みです。
才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。

- 【主催】 (公社)岩手県サッカー協会
- 【主管】 (公社)岩手県サッカー協会 キッズ委員会 11地区
- 【運営】 各地区キッズ担当者、参加団体指導者、JFAキッズリーダー、学生、父母の方々など
- 【対象】 少年団・クラブチーム・スクールに所属する小1～小4の児童および準ずる児童で、傷害保険に加入していること
- 【内容】 2002年にJリーグ・アカデミー（当時プロジェクトリーダー山下則之氏）が提唱した「補欠ゼロ = 参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する」の考え方を基本として、参加団体の対抗戦ではなく、集まった子供たちをシャッフル混成チーム分け(4～5人制)して、そのチームでその日限りのリーグ戦(3試合程度)を戦い抜きます。

- ★ 混成するので団員1人での参加も大丈夫
- ★ 試合には常にレギュラー選手としてフル出場
- ★ 4～5人制でボールに関わるチャンスが多い
- ★ 混成チームの中でプレーすることで社会性を養う



北上地区 U-8 (最終節)

- 【日時会場】 2014年3月22日(土) 9:00～12:00 北上市 北部勤労者屋内運動場
- 【参加団体】 飯豊、江釣子、シエロ、和賀、キッズサッカークラブ
- 【参加人数】 26名
- 【運営本部】 小野 慈 (県協会キッズ北上地区担当、北上市サッカー協会少年委員会、相去 SSS)
- 【サポート】 参加団体の指導者および保護者の方々

会場のようす



2つのコートを用意して、試合をおこないます。

◆ 奥側のコート
フットサルゴールを使用して、普通のゲームをおこないます。
テーマは、常にゴールを意識して積極的にシュートを狙おう。

◆ 手前のコート
キッズ用ミニゴールを4台設置して、「4ゴールゲーム」をおこないます。
目指すゴールは2つ、守るゴールも2つ。
テーマは、サイドチェンジを意識しよう、コートを広く使って攻めよう。

【北上市 北部勤労者屋内運動場】 JR 村崎野駅の北側、北上市北工業団地の中にあります。長さ10ミリの従来型ショートパイル人工芝が敷いてあり、広さはフットサルコート1面です。

和賀 vs キッズサッカークラブ



和賀 vs 合同チーム (飯豊 + 江釣子)



シエロ vs 和賀





和賀 vs 合同子一ム (飯豊 + 江釣子)





集合写真



編集：鎌澤 和之（県協会キッズ委員会）